

アルツハイマー病の7段階	
段階1	認知機能の障害なし
段階2	非常に軽度の認知機能の低下
段階3	軽度の認知機能の低下
段階4	中等度の認知機能の低下 (軽度のアルツハイマー病)
段階5	やや重度の認知機能の低下 (中等度のアルツハイマー病)
段階6	重度の認知機能の低下 (やや重度のアルツハイマー病)
段階7	非常に重度な認知機能の低下 (重度のアルツハイマー病)

https://www.alz.org/asian/about/apis.asp?nL=JA&dL=JA

初期の認知症と診断され始め、周囲の人が変化に気づき始める段階です。食事の関係についてお伝えします。アルツハイマー病は7段階に分けることが出来ます。

段階1… 認知機能の障害なし

段階2… 非常に軽度の認知機能の低下

段階3… 軽度の認知機能の低下

段階4… 中等度の認知機能の低下 (軽度のアルツハイマー病)

段階5… やや重度の認知機能の低下 (中等度のアルツハイマー病)

段階6… 重度の認知機能の低下 (やや重度のアルツハイマー病)

段階7… 非常に重度な認知機能の低下 (重度のアルツハイマー病)



民医連
代々木歯科コーナー
連載

認知症と食事の関係3

その60 歯科医師 上田英範

今回は認知症の進行と食事の関係についてお伝えします。アルツハイマー病は7段階に分けることが出来ます。

段階1… 認知機能の障害なし

段階2… 非常に軽度の認知機能の低下

段階3… 軽度の認知機能の低下

段階4… 中等度の認知機能の低下 (軽度のアルツハイマー病)

段階5… やや重度の認知機能の低下 (中等度のアルツハイマー病)

段階6… 重度の認知機能の低下 (やや重度のアルツハイマー病)

段階7… 非常に重度な認知機能の低下 (重度のアルツハイマー病)

「世界禁煙デーと禁煙週間 受動喫煙のない社会を目指して」



「世界禁煙デー」と「禁煙週間」

「世界禁煙デー」はWHO (世界保健機関) が制定した禁煙を推進するための記念日で、19

個人・団体が公共の空間での「受動喫煙防止」をPRする時に自由に使うことができるロゴです。

受動喫煙のない社会を目指して

2016年度から「2020年、受動喫煙のない社会」

喫煙者の皆さん、この機会に「禁煙」に挑戦してみたいかでしょうか。

89年から毎年5月31日を「世界禁煙デー」と定めています。日本でも厚生労働省が1992年から「世界禁煙デー」から始まる一週間(5月31日から6月6日)を「禁煙週間」と定め、たばこ対策を推進しています。

受動喫煙は大人から子ども、赤ちゃんにも影響が及び、循環器疾患、呼吸器疾患など多くの疾患の原因とされています。最近では大人だけでなく、受動喫煙が子どもにも与える健康被害も深刻といわれています。厚生労働省によれば、たばこの副流煙には、主流煙よりも濃い濃度の有害物質が含まれており、受動喫煙により、成人は、がん、脳卒中、心筋梗塞など、子どもは、中耳炎、気管支炎、肺の感染症、肺機能の低下、脳の働きへの影響など、妊婦やお腹の中の赤ちゃんには、流産や早産、新生児の低体重化などのリスクが指摘されています。

受動喫煙のない社会を目指して

2016年度から「2020年、受動喫煙のない社会」

健康リスクの低減を実現するために禁煙を考慮してください。「世界禁煙デーと禁煙週間」はひとつのきっかけになるのではないのでしょうか。

喫煙者の皆さん、この機会に「禁煙」に挑戦してみたいかでしょうか。



代々木病院の社保・平和活動



3月22日、千駄ヶ谷駅前で労働組合を中心に憲法9条改憲NO3000万人署名に取り組みました



4月9日、千駄ヶ谷駅前、新入職員も参加、核兵器の全面禁止、9条改憲NOを訴えました

サプリメントに頼らない生活

薬剤師 藤竿伊知郎 (外苑企画商事)

C型慢性肝炎や、非アルコール性脂肪肝炎(NASH)の患者さんでは、鉄が肝臓の進行に重要な役割を果たしています。慢性肝炎では、鉄が肝臓に余分に蓄積され、その鉄が活性酸素のなかでも反応性が高いヒドロキシラジカルを生成します。これが、肝細胞を攻撃して、肝硬変・肝

先月、ウコンの利用にあたって鉄分が問題となっていることをお伝えしました。ウコンだけでなく、「肝臓に良い」といわれるシジミ・牡蠣などの貝類やレバーは、鉄の含量が多く慢性肝炎を患っている方には有害です。鉄は、不足すると貧血になることは知られていますが、毒性は理解されていません。

ヒトの体内には3〜4gの鉄が存在し、その3分の2は赤血球の中で酸素の運搬に使われ、3割は、肝臓に貯蔵されて不足に備えています。成人の場合、1日に入ります量はわずか1mg、ごく微量で体に影響がある金属です。

肝臓に貯蔵されて不足に備えています。成人の場合、1日に入ります量はわずか1mg、ごく微量で体に影響がある金属です。

(48) 肝臓を痛める「食品」中の鉄分に注意

臓がんの発生を引き起こしています。

肝臓に蓄積した鉄を減らすため、成人で1日あたり平均で7.5mg摂取しているものを、6mg以下に減らす食事指導がおこなわれています。

ウコン製品中の鉄は1日分で0.250.4mgなので「微量」といっている販売業者もありますが、問題です。もっとも多い製品もありましたし、成分表示をしていない業者もあります。脂肪肝が増えている現在、食事の鉄過剰には気を付けましょう。

